

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

幼稚園番号	
園名	学校法人池田学園 五ノ神幼稚園
対象年齢	4～5歳 年中・年長児
時期	5月～9月
年間テーマ	食育

1. 活動のテーマ

<テーマ>

野菜・バジルの栽培とピザ作り

<テーマの設定理由>

野菜を苗から育てる過程において、花の色や実が大きくなっていく様子に興味を持ってほしいという思いが大きかった。
また、ハーブの中でもバジルに興味を示したことから、収穫と調理を体験。
自園の給食室があるのを利用し、焼きたてのピザを味わうことができる。
栽培や収穫の喜びとクッキングを通して、食育につながることを期待。

2. 活動スケジュール

5月 プランターの準備 栄養豊富な土づくり 苗植え
6～7月 水やり 発育を観察
8月 収穫 ピザ作り教室 発表
9月 振り返り 活動のまとめ

3. 探究活動の実践

<環境のデザイン>

活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・プランター
- ・苗の購入
- ・ピザの材料
- ・ピザを焼くために栄養士の臨時出勤

<活動の内容>

活動中の子どもの姿・声、子ども同士や教師との関わり等

栽培の面白さ	苗が大きくなってくると、花が咲くのを心待ちにして、毎日観察する。「トマトの花は黄色なんだね」「ナスの花は紫でキレイ」などと、率先して教えてくれる。 また小さい実が、いくつできているか数えるのが日課となり、クラスの朝の会で、発表することと水やりが、日直の仕事に追加された。	 
新たな興味	実ったトマトやナスを見て「ピザにのせたら美味しそうだね」という会話から「マルゲリータ食べたことある」との話に発展。 ある一人の子の発言から、どんどん話が広がっていき、バジルもピザの材料にすることが決定する。	 
気づきや発見	せっかくだからと時間をかけて、ピザの生地は粉からこねて作っていく。 具材として途中、トマト・ナスを収穫してトッピング。 バジルについては、まず友だちと香りを共有。 自分で嗅いでみたり、友だちに嗅がせてみたり、独特な匂いに様々な反応を見せる。 ピザにのせて焼く前と、焼いた後の変化や味も実際に体験できた。	 
豊かな体験	焼きたてのピザの温かさや、美味しそうな匂いに喜びを隠せず満面の笑み。 「ナスが苦手だったけど、食べてみたら美味しかった」 「トマトがあんまり好きじゃなかったけどピザにして食べたら美味しかった」など、苦手な野菜を克服する場面もあった。更に、友だちと共に調理や食事を楽しむことで、会話も広がり、嬉しさを共有できた様子。	  

4. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

✳野菜やハーブ、植物がどのように育つのかを知ることで、食により興味・関心を示し、大切にしようとする。

✳今回の“マルゲリータ”や“バジル”のように、名前は知っていても実際のものを知らない場合もある。本物を見たり触ったり、味わったり、五感で体験することは、幼児期にとって大切だと考える。可能な限り、手に取れる環境を作ってあげたい。

